

郡山公民館での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年8月29日（金）19：30～20：30
場所：郡山公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
		<p>③ また、町内会との協議連携組織の事務局を支所に設けたり、国が取り組もうとしている集落支援員制度の導入など町内会と行政との関係強化につながる取り組みに努めてほしい。</p>	<p>③ 町内会と行政の関係についても、合併時に各町が培ってきた伝統を踏まえつつ鹿児島市の制度に一本化し、町内会との窓口として各支所の総務市民課に「地域振興係」を置いています。合併後4年目となり、地域の皆さんと連携する上で支障があるということであれば組織のあり方も含めて再検討の時期にあるとも考えられます。</p> <p>もっとも協議連携組織やその事務局のあり方をどうするかなどについては、本市全体で考える必要があります。集落支援員制度などの国の動きも踏まえながら支所組織の改善も含めて、より地域と密接な関係が深まるよう検討していきたいと思えます。</p>	<p>企画部 市民局</p>	<p>③ 町内会は、地域住民の自主的な総意に基づき、地域を快適で住みよくすることを目的に組織された住民自治組織です。</p> <p>市では、それぞれ地域性や規模等の異なる単位町内会の活性化を図ることが大切であると考えており、これまで、補助制度の実施など、各面からその活動を支援してきたところです。</p> <p>現時点においては、地域の代表者と行政の間で定期的な意見交換の場等は設けておりませんが、「市長とふれあいトーク」、「市政出前トーク」や「わたしの提言」等を活用し、共にまちづくりを進めてまいりたいと考えております。</p>

郡山公民館での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年8月29日（金）19：30～20：30
場所：郡山公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	花尾町 男性	<p>合併後の郡山地域の振興のためには住民側の工夫や取り組みも重要ではないかと思う。</p> <p>例えば甲陵高校の存続を訴えても郡山中から入学する生徒は10名くらいと聞く。魅力ある学校として子どもに入学してもらえよう住民が取り組むべきではないか。</p> <p>また、町内会の補助金申請も前年度分の書類を参考にすれば難しくないし、市民参画推進課も支所の総務市民課の職員も丁寧に教えてくれる。</p> <p>小学校も児童数が減って空き教室が増えており、それを転用すればわざわざ公民館を新築する必要もない。</p> <p>バスが必要と言いながらJRバス、いわさきバス、コミュニティバスなどの利用者が3人というのもざらである。バスで乗り換え市街地に行くなど、われわれ住民側も考えるべき点はあるように思う。</p>	<p>校舎の活用へのご意見をいただきましたが、本市でも保有する資産を活用する委員会を立ち上げ、遊休資産の活用に取り組んでいるところです。これからは無駄のない、行政づくりに努めていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>	企画部 総務局 市民局 教育委員会	<p>今後とも、町内会の補助金などの申請については、事前相談や書類作成時など丁寧な対応に心がけてまいります。</p> <p>市有財産である土地や建物について、全庁的な視点から、有効かつ効率的な利活用を進めるために、市有財産利活用検討委員会を設置しました。今後、学校の空教室等も含め、各施設の利用状況等の調査を行い、有効な活用方法を検討していきます。</p> <p>なお、余裕教室は、学校教育施設として、少人数指導教室や多目的室、教材教具室、作品展示・郷土資料室など、児童生徒の学習指導の充実や特色ある教育活動の推進等、有効に活用されております。また、社会教育等施設としては、PTA活動の充実や地域住民の教育・文化活動に役立てられております。</p> <p>今後も、各小・中学校が保有する余裕教室等の状況を具体的に把握し、有効活用を促進していきたいと考えております。</p> <p>郡山地域のコミュニティバスにつきましては、より多くの地域の皆様に利用していただけるよう、本年度実施する利用実態調査の結果等をもとに、今後、運行ルート等の見直しを検討することとしておりますが、検討にあたりましては、広く地域の皆様のご意見をお聞きしながら進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。</p>

郡山公民館での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年8月29日（金）19：30～20：30

場所：郡山公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	武岡4丁目 男性	<p>① 旧5町との合併後「まちづくり会議」では4年近い協議をして、まとめた意見書を19年11月市長に提出した。「新市の速やかな一体化」「均衡ある発展」を目標としていたが、現実には乖離があると思う。旧5町の住民には「一体化」や「発展」の実感がわからないのではないかと。市長の見解をお伺いしたい。</p> <p>例えば福祉館を各地域に整備してほしいという意見が出ているので財政的余裕がないのであれば、各支所庁舎を代替施設として利用できるよう速やかに取り組んでほしい。</p>	<p>① 「新市の一体化」については、合併時に制度を旧鹿兒島市に一本化するとの調整を行いました。それぞれの地域が培った制度がなくなり、不利益になった方もおられると思います。ひとつの自治体としては制度は一本化するのが基本となりますが、一本化していく中で必要があれば、一つ一つ検証しながら見直しも検討してまいります。</p> <p>おおむね市民の皆さんにはご理解いただいていると考えております。</p> <p>「均衡ある発展」については、まず市民の皆さんのご意見をお聞きすることが重要であり「市長とふれあいトーク」「地域まちづくり会議」を実施してまいりました。いただいたご意見はできるだけ具現化してきたつもりです。また新鹿兒島市が発足したことから3年毎に策定する実施計画も見直しを行いましたので、これが完了するよう今後とも努力してまいります。</p> <p>お話の各地域での福祉館の整備については、遊休施設の活用検討の中でも考えてまいりたいと思います。</p>	企画部 総務局 健康福祉局	<p>① まちづくり会議等を通じていただきました、多くの市民の皆様のご意見やご提言につきましては、これまで、可能な限り施策へ反映させてきたところであり、新生鹿兒島市の「速やかな一体化」と「均衡ある発展」は、着実に図られてきているものと考えております。市民の皆さんのご意見やご提言につきましては、今後とも、実施計画の策定や予算編成を通じ、施策に活かしていきたいと考えております。</p> <p>福祉館の建設については、地理的状況や人口の集積状況、類似する既存施設の設置状況や利用状況等を勘案しながら検討することとしており、現時点では既存施設の活用を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>なお、支所庁舎の活用については、現在、市有財産である土地や建物について、全庁的な視点から、有効かつ効率的な利活用を進めるために、「市有財産利活用検討委員会」を設置しております。今後、支所庁舎の空室を含め、各施設の利用状況等の調査を行い、有効な活用方法を検討していきます。</p>

郡山公民館での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年8月29日（金）19：30～20：30
場所：郡山公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
		② 平成23年までの第四次総合計画の進捗状況について、数値化したものを「市民のひろば」等で市民に示してほしい。	② 第四次総合計画の進捗状況については、予算決算の状況も含めて毎年「市民のひろば」にお示ししておりますので、ご覧いただきたいと思ひます。	企画部	② 第四次鹿児島市総合計画につきましては、計画に盛り込んだ施策の分野が多岐にわたることなどから、進捗状況を一概に数値化する事は困難でございますが、同計画を推進するための主な取組みにつきましては、「市民のひろば」において毎年度の予算や決算の状況とともにお示ししておりますので、ご覧いただきたいと思ひます。
		③ 市長も学生時代を過ごされた横浜市は、古いものと新しいものを調和させながら目を見張る発展をしていて、鹿児島市の参考になると思ひます。鹿児島市もいながらにして天然のリゾート、景観を体験できる本港区を中心に、市長の横浜市での生活経験も活かしながらまちづくりを進めてほしい。	③ 錦江湾を活用したまちづくりは、公約にも盛り込んでいたところですが、まちづくりに大きな意義を持っていると思ひます。もっとも港湾計画は県の所管になりますので、市街地に近い地域の早期整備を中心に県に申入れをしていきたいと思ひます。	建設局	③ 県が定める港湾計画におきましては、鹿児島港本港区は離島航路の集約とともに賑わい空間の形成等が位置づけられ、整備が進められております。本市としては、今後とも港湾計画に基づく本港区の早期整備が図られるように、県に要請してまいりたいと考えております。 また、本市の景観計画におきましては、鹿児島港本港区のウォーターフロント地区を景観形成重点地区候補地区（8地区）の一つに位置づけており、景観形成重点地区の指定に向けて、地域の方々の合意が得られたのち、協働による地区の景観計画の検討を行ってまいります。
		④ 新幹線部分開業の際も騒音や振動の問題があった。平成22年度末の全線開業時には現在以上の騒音、振動が発生しないよう市としても取り組んでいただきたい。	④ 新幹線の騒音、振動の問題については住民の皆さんのご理解をいただくことが必要です。JR九州をはじめ関係機関にもご意見がありましたことはお伝えしてまいります。	企画部	④ ご意見があったことにつきましては、あらゆる機会を通じてJR九州等にお伝えしてまいりたいと考えております。

郡山公民館での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年8月29日（金）19：30～20：30
場所：郡山公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	郡山町 男性	旧郡山町時代の5～6年ほど前、屋内運動場の建設機運が盛り上がったものの、合併で尻すぼみになってしまった。前市長は郡山地域での体育施設整備を明確にされていたと記憶するが、その後整備についてはどうなっているのだろうか。	屋内運動場の整備について郡山地域の皆さんから要望があることは承知しており、新まちづくり計画にも盛り込んであるところです。この場で整備の時期をいつとは明言できませんが、土地区画整理事業などの大きな事業整備の中で検討し、皆さんの意見を伺いながら進めてまいりたいと考えております。	企画部 教育委員会	屋内運動場の整備につきましては、地域住民の利用者見込み等を踏まえ、施設の規模・機能等を整理し、検討してまいりたいと考えております。
8	郡山町 男性	8.6水害から15年経つが河川改修は未だ進んでいない。都市計画を優先するから河川改修は進まないのだろうか。市民の生活・安全を守るべき川が荒れてしまっている。 かつては洗濯や遊びの場としてみんな川に親しみを持っていたが、最近は危険ということばかりが言われて川に行かなくなった。甲突川上流の河川改修は市街地住民の皆さんにとっても水がめの整備になるし、自然と人が共生できるまちづくりにもつながると思う。ぜひ早期の河川改修をお願いしたい。	甲突川は市民の皆さんにとって大事な水がめです。 郡山中央土地区画整理事業と甲突川改修は密接な関連がありますが、河川改修は市民の皆さんの生命・安全を守る重要な事業です。先日の県市協議会でも河川改修事業の推進について強く申し入れたところです。今後も土地区画整理事業の進捗に遅れが生じないように、河川改修事業の着実な推進を県に要請してまいりたいと考えております。	建設局	甲突川の河川改修は、郡山中央土地区画整理事業と併行して、県が行っている事業です。 平成19年度末で郡山中央橋上流約70m付近までの約35%が整備済みですが、今後も土地区画整理事業の進捗に遅れが生じないように、事業費の確保など、着実な事業の推進を県に要請してまいります。